

平成26年5月1日

小 鹿 野 町 の 財 政

小鹿野町総合政策課

1 平成26年度予算の概要

(1) 一般会計・特別会計・事業会計予算額一覧表

(単位：千円)

会 計 名	26年度予算額		25年度予算額		比 較	増減率 (%)
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
一 般 会 計	7,830,000	52.3	6,641,000	52.3	1,189,000	5.0
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	1,731,279	13.4	1,694,171	37,108	0.6
	後期高齢者医療特別会計	275,354	2.1	259,398	15,956	2.8
	介護保険特別会計	1,795,122	14.2	1,805,585	△ 10,463	19.8
	浄化槽設置管理等特別会計	144,900	1.1	140,500	4,400	2.8
事 業 会 計	病院事業会計	1,608,593	12.2	1,550,540	58,053	3.3
	水道事業会計	396,124	2.8	351,495	44,629	△ 3.7
	国民宿舎事業会計	231,500	1.9	244,026	△ 12,526	8.7
合 計	14,012,872	100.0	12,686,715	100.0	1,326,157	5.8

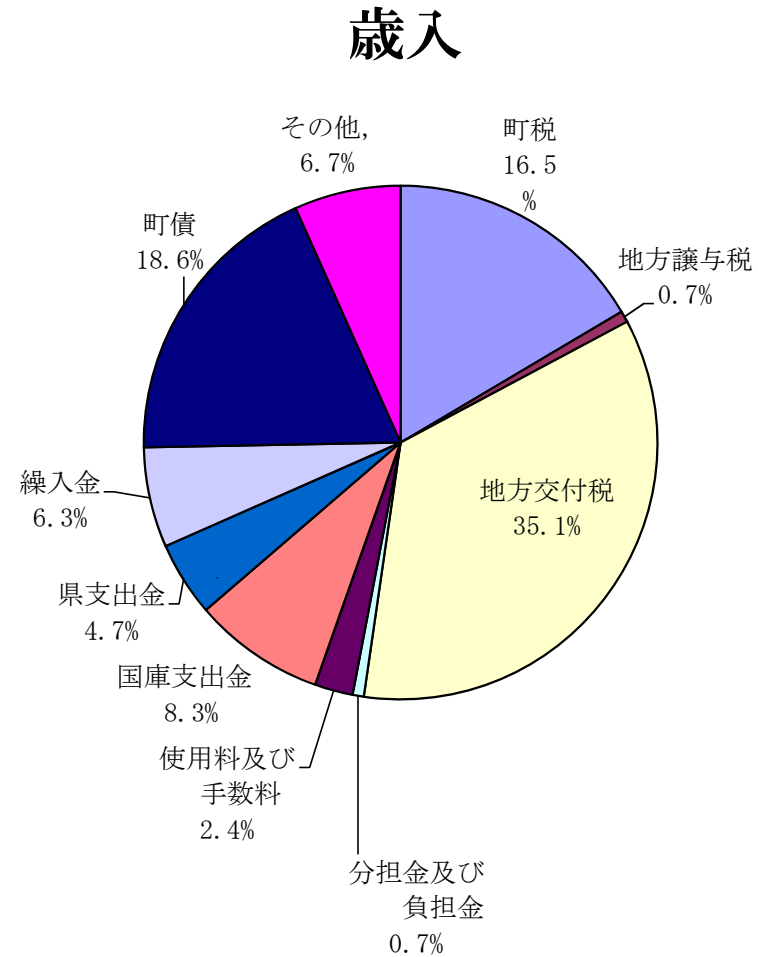
用語説明

- * 一般会計とは・・・町の行政運営の基本的な経費を網羅したもので、特別会計で計上される以外の全ての経費を計上したものです。
- * 特別会計とは・・・特定の事業を行う場合に、特定の歳入、歳出を一般の歳入歳出と区別して処理する会計です。
- * 事業会計とは・・・地方公営企業法に基づき設置された会計です。

(2) 一般会計歳入予算額構成図

(単位：千円)

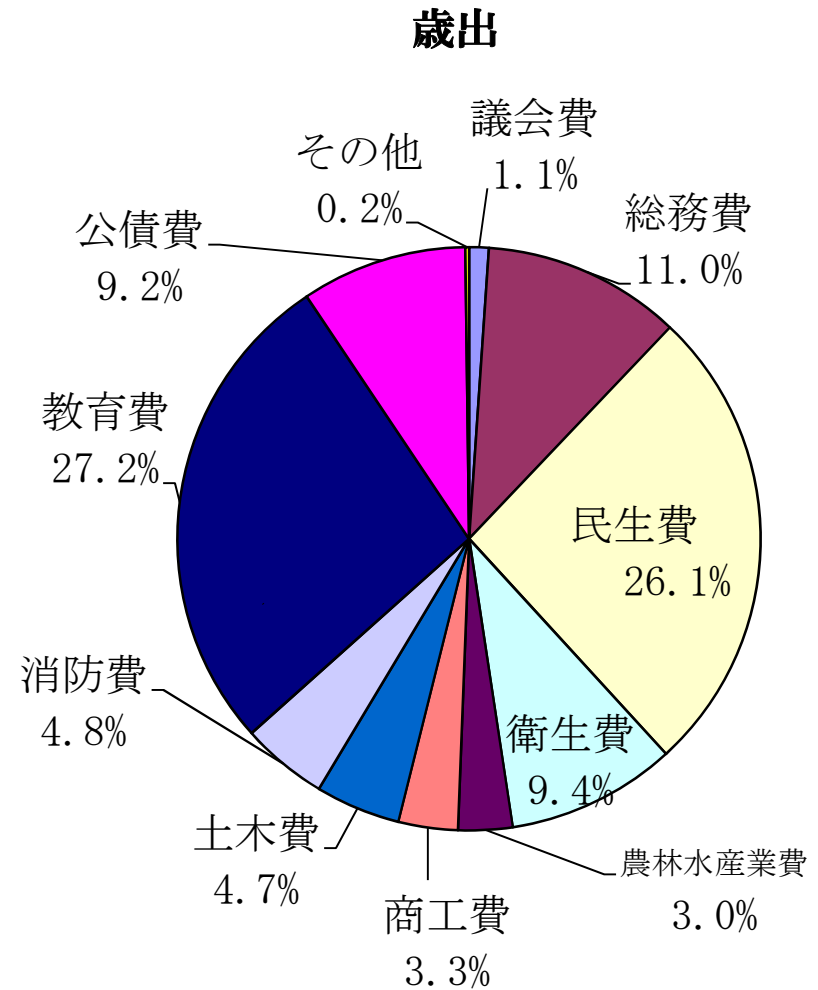
款	26年度予算額	25年度予算額	比較	増減率(%)
1 町 税	1,288,552	1,285,173	3,379	0.3%
2 地 方 譲 与 税	56,501	59,001	△ 2,500	△4.2%
3 利 子 割 交 付 金	2,200	2,600	△ 400	△15.4%
4 配 当 割 交 付 金	3,800	2,000	1,800	90.0%
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	1,000	500	500	100.0%
6 地 方 消 費 税 交 付 金	137,000	115,000	22,000	19.1%
7 ゴルフ場利用税交付金	6,500	6,300	200	3.2%
8 自動車取得税交付金	11,001	16,001	△ 5,000	△31.2%
9 地方特例交付金	2,900	3,500	△ 600	△17.1%
10 地 方 交 付 税	2,750,000	2,751,000	△ 1,000	0.0%
11 交通安全対策特別交付金	1,500	1,550	△ 50	△3.2%
12 分担金及び負担金	50,997	59,797	△ 8,800	△14.7%
13 使用料及び手数料	187,825	193,557	△ 5,732	△3.0%
14 国 庫 支 出 金	647,177	360,395	286,782	79.6%
15 県 支 出 金	366,161	381,935	△ 15,774	△4.1%
16 財 産 収 入	3,668	4,818	△ 1,150	△23.9%
17 寄 付 金	170	270	△ 100	△37.0%
18 繰 入 金	491,380	317,230	174,150	54.9%
19 繰 越 金	200,000	200,000	0	0.0%
20 諸 収 入	161,868	166,673	△ 4,805	△2.9%
21 町 債	1,459,800	713,700	746,100	104.5%
合 計	7,830,000	6,641,000	1,189,000	17.9%



(3) 一般会計歳出予算額構成図

(単位：千円)

款	26年度予算額	25年度予算額	比較	増減率 (%)
1 議会費	83,635	82,871	764	0.9%
2 総務費	859,087	849,765	9,322	1.1%
3 民生費	2,044,605	1,919,041	125,564	6.5%
4 衛生費	734,621	746,721	△ 12,100	△1.6%
5 農林水産業費	239,327	264,590	△ 25,263	△9.5%
6 商工費	258,962	248,911	10,051	4.0%
7 土木費	372,591	300,457	72,134	24.0%
8 消防費	373,542	364,560	8,982	2.5%
9 教育費	2,127,608	1,054,594	1,073,014	101.7%
10 災害復旧費	40	40	0	0.0%
11 公債費	719,995	792,313	△ 72,318	△9.1%
12 諸支出金	5,987	7,137	△ 1,150	△16.1%
13 予備費	10,000	10,000	0	0.0%
合計	7,830,000	6,641,000	1,189,000	17.9%



- *議会費・・・町議会の運営にかかる費用
- *総務費・・・町の各種計画の策定や推進、町の内部管理などの費用
- *民生費・・・児童、高齢者、心身障害者福祉のための費用
- *衛生費・・・町民の健康づくり、環境保全のための費用
- *農林水産業費・・・農林水産業の振興を図るための費用
- *商工費・・・中小企業の振興を図るための支援や観光振興にかかる費用
- *土木費・・・道路、河川、町営住宅などの建設・維持にかかる費用
- *消防費・・・消防団活動や消防施設の建設などにかかる費用
- *教育費・・・学校教育の充実、生涯学習の充実、芸術・文化・スポーツの振興などのための費用
- *公債費・・・借入金の元金・利子の返済にかかる費用

Ⅱ 平成25年度収入及び支出の概要

(1) 一般会計

平成26年3月31日現在 (単位：千円)

歳 入				歳 出			
款	予算現額	収入済額	収入割合 (%)	款	予算現額	支出済額	支出割合 (%)
1 町 税	1,275,173	1,291,668	101.3	1 議 会 費	82,871	78,780	95.1
2 地 方 譲 与 税	54,464	54,463	100.0	2 総 務 費	920,812	695,593	75.5
3 利 子 割 交 付 金	2,059	2,059	100.0	3 民 生 費	1,934,936	1,726,496	89.2
4 配 当 割 交 付 金	4,363	4,363	100.0	4 衛 生 費	734,951	645,019	87.8
5 株式等譲渡所得割交付金	7,168	7,168	100.0	5 農 林 水 産 業 費	269,381	201,044	74.6
6 地方消費税交付金	114,054	114,054	100.0	6 商 工 費	247,411	186,633	75.4
7 ゴルフ場利用税交付金	6,613	6,613	100.0	7 土 木 費	326,657	199,140	61.0
8 自動車取得税交付金	21,486	21,485	100.0	8 消 防 費	364,560	325,613	89.3
9 地方特例交付金	2,999	2,999	100.0	9 教 育 費	915,342	733,306	80.1
10 地 方 交 付 税	2,907,398	2,907,398	100.0	10 災 害 復 旧 費	40	0	0.0
11 交通安全対策特別交付金	1,333	1,333	100.0	11 公 債 費	792,313	786,444	99.3
12 分担金及び負担金	59,797	44,039	73.6	12 諸 支 出 金	46,610	33,447	71.8
13 使用料及び手数料	191,077	179,489	93.9	13 予 備 費	4,021	0	0.0
14 国 庫 支 出 金	458,270	423,484	92.4				
15 県 支 出 金	373,585	276,509	74.0				
16 財 産 収 入	8,364	10,537	126.0				
17 寄 付 金	2,830	2,740	96.8				
18 繰 入 金	30,889	25,300	81.9				
19 繰 越 金	498,465	512,110	102.7				
20 諸 収 入	207,947	154,929	74.5				
21 町 債	411,571	0	0.0				
歳 入 合 計	6,639,905	6,042,740	91.0	合 計	6,639,905	5,611,515	84.5

(2) 特別会計

平成26年3月31日現在 (単位：千円)

会 計 名		予算現額 (歳入)	収入済額	収入割合 (%)	予算現額 (歳出)	支出済額	支出割合 (%)
特別 会計	国民健康保険特別会計	1,753,666	1,529,651	87.2	1,753,666	1,642,012	93.6
	後期高齢者医療特別会計	264,976	239,348	90.3	264,976	236,581	89.3
	介護保険特別会計	1,877,772	1,639,881	87.3	1,877,772	1,537,815	81.9
	浄化槽設置管理等特別会計	128,843	112,870	87.6	128,843	108,335	84.1
合 計		4,025,257	3,521,750	87.5	4,025,257	3,524,743	87.6

平成25年度収入及び支出の概要

(3) 基金

平成26年3月31日現在（単位：千円）

種 別	現 在 高	備 考
財 政 調 整 基 金	1,154,509	
減 債 基 金	748,844	
施 設 整 備 基 金	95,014	
土 地 取 得 基 金	174,225	
社 会 福 祉 施 設 整 備 基 金	5,343	
国 民 健 康 保 険 保 険 給 付 費 支 払 基 金	10,708	
高 額 療 養 費 支 払 資 金 貸 付 基 金	7,000	
介 護 保 険 給 付 費 準 備 基 金	32,655	
浄 化 槽 設 置 管 理 等 基 金	15,446	
ふ る さ と 応 援 基 金	3,185	
奨 学 資 金 貸 付 基 金	56,997	
介 護 サ ー ビ ス 事 業 基 金	30,083	
合 計	2,334,009	

(4) 町 債

平成26年3月31日現在 (単位：千円)

種 別	財務省 財政融資資金	簡保資金	郵貯資金	公営企業 金融公庫	埼玉 りそな銀行	埼玉 信用組合	ちちぶ農協	市町村職員 共済組合	市町村 振興協会	武蔵野銀行	県貸付金	合計	構成比
一 般 会 計	2,283,177	147,652	954	1,219,582	1,260,027	42,825	156,892	0	354,997	26,555	320,160	5,812,821	
特別 会計 ・ 事業 会計													
浄化槽設置管理等特別会計	430,559	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	430,559	
病 院 事 業 会 計	1,222,178	0	0	0	3,100	0	0	0	0	60,450	0	1,285,728	
水 道 事 業 会 計	241,691	0	0	131,940	0	0	0	0	0	0	0	373,631	
国民宿舎事業会計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	4,177,605	147,652	954	1,351,522	1,263,127	42,825	156,892	0	354,997	87,005	320,160	7,902,739	0.0

(5) 一時借入金

なし

平成26年3月10日招集の定例町議会
における施政方針の要旨

小 鹿 野 町

平成26年度の小鹿野町の各会計予算案について、町政運営に関する基本的な考え方と、各会計予算案に盛り込まれた施策の概要につきまして、ご説明申し上げ、議員並びに町民各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【町政運営に関する基本的な考え方】

はじめに、町政運営に関する基本的な考え方について申し上げます。

国では、二度目となる安倍政権が誕生して、早くも1年が経過しました。この間、国内経済は、いわゆるアベノミクス効果により円高の抑制が図られ、株価も上昇気流に転じ、好転の兆しが見えてきたところでもあります。そして、先月行われた東京都知事選において、舛添氏が当選し、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催の準備が加速し、東日本大震災からの復興と合わせ、建設需要は一段と増加するものと思われれます。一方、本年4月に導入される消費税率8%の影響は現時点では計り知れないものがあり、経済全般の先行きは予断が許さない状況でもあります。

プロ野球界では田中投手が無敗記録を更新し、日本人過去最高契約額でメジャー移籍を成し遂げ、東北地方はもとより国民に夢と希望を与えてくれました。先月には、ロシアで冬の五輪「ソチオリンピック」が開催され、多くの日

本人アスリート達が活躍されたのは記憶に新しいところ
あります。また、本年6月にはサッカー・ブラジルワ
ールドカップも開催予定であり、日本チームの大いなる活躍が
期待されているところであります。

昨年の町内を振り返ってみると、2月には、冬の新たな
観光名所として「尾ノ内氷柱」を創り出し、地域の活性化
に貢献したとして、西秩父商工会青年部が全国大会顕彰を
受賞されました。今後も地域の発展にご尽力をいただくよ
うお願いするとともに、他の地域でも積極的に地域おこし
活動を行っていただきますようお願いいたします。そのた
めの支援は町でも行っていく所存であります。また、10
月には町営バスの路線再編を行うとともに、小鹿野・下小
鹿野・伊豆沢・長若地域を中心に乗り合いタクシーの運行
を開始し、現在約300人の方に登録をいただいていると
ころであります。今後ますます高齢化が進む本町において
は、町民の移動手段の確保が今まで以上に重要なことと考
えますので、町営バスと合わせ、更なる充実を図っていく
所存であります。

小鹿野町は、平成17年10月に旧小鹿野町と旧両神村
との合併により誕生し、早いもので今年9年目を迎えます。
この間、両町村の均衡ある発展を念頭に、自然公園の管理、
町道・森林管理道の整備、小中学校施設の耐震化、社会体
育施設の整備、伝統文化の継承など様々な事業に取り組ん
でまいりました。今後は、合併特例債の発行期限である平
成32年度が差し迫ってきていますので、公共施設のアセ

ットマネジメントの推進などにより、行財政のスリム化にも積極的に取り組んでいく必要性を強く感じているところでもあります。

私の町政運営の基本理念は、「町民の生命を守り、安全・安心のまちづくり」であり、町民の皆さんと一緒に考え悩み、そして生き生きとした小鹿野町を志を一つにして創り出すことでもあります。

そこで、総合振興計画後期計画を策定していく中で行ったアンケート結果等を踏まえ、町民のための町政に向けて全力で取り組んでいく所存であります。

議員各位におかれましても、今後とも温かいご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げる次第であります。

【予算編成の基本的な考え方】

次に、平成26年度の予算編成にあたりまして、その基本的な考え方について申し上げます。

初めに、国内の政治経済情勢は、先ほど述べたとおり、安倍政権のもと、円高に抑制がかかり、株価が上昇傾向となり、製造業を中心にリーマンショック前の状況に戻りつつあります。しかしながら、4月からの消費税率引き上げが経済に与える影響は少なくないとも考えられ、予断は許さない状況ではあります。

12月末に発表された「地方財政対策」によると、地方交付税の総額は前年度比マイナス1.0%、額にして1,

769億円の減額となりました。しかし、景気回復により地方税が前年度比プラス2.9%・9,952億円、地方譲与税が前年度比プラス17.4%・4,094億円の増額になるなど地方の一般財源総額は前年度比プラス1.0%・6,050億円となり平成25年度を上回る額を確保したとのことであります。

また、消費税率引き上げに伴い、地方消費税交付金の増額が予想されているところではありますが、消費活動の停滞が生じれば税収も見込めなくなるという危うさも含んでいます。そのため、消費税率引き上げによる影響を緩和するため、所得の低い方及び子育て世帯への臨時的な措置として、「臨時福祉給付金」並びに「子育て世帯臨時特例給付金」を国の制度に基づき措置いたしました。

このように大変先行き不透明な行財政状況下ではありますが、将来の統合を見据え、学校施設の充実を図るため、平成25年度からの継続事業として小鹿野中学校校舎改修事業を行うとともに、児童・生徒の学力向上を目指し、学習支援員を配置するための予算を計上したところであります。また、小鹿野小学校プール並びに小鹿野小学校体育館の新設及び給食センター設計にかかる予算を措置するなど教育費は、昨年度より約10億円多い予算となったところであります。さらに、橋梁長寿命化計画に基づく橋梁修繕事業や町民の皆様から要望のあった町道改良事業など教育

や住民生活に欠かすことのできない事業に積極的に予算配分を行ったところであります。

その結果、平成26年度に発行する合併特例債は、11億6,720万円となり、合併後最大の発行額となりました。しかし、特例債の発行期限が迫る中、この先必要と思われるものには、先行して投資を行っていくことも重要なことと考えるの予算編成でありますので、皆様のご理解を賜りたいと思います。

【平成26年度各会計予算案の概要】

平成26年度各会計予算案は、以上申し上げました考え方に基づき編成いたしました。その結果、議案第7号から議案第14号までの各会計予算案の規模は、

一般会計	78億3千万円 (対前年度比17.9%の増)
国民健康保険特別会計	17億3千127万9千円 (対前年度比2.2%の増)
後期高齢者医療特別会計	2億7千535万4千円 (対前年度比6.2%の増)
介護保険特別会計	17億9千512万2千円 (対前年度比0.6%の減)
浄化槽設置管理等特別会計	1億4千490万円 (対前年度比3.1%の増)

病院事業会計	16億 859万3千円 (対前年度比 3.7%の増)
水道事業会計	3億9千612万4千円 (対前年度比12.7%の増)
国民宿舎事業会計	2億3千150万円 (対前年度比 5.1%の減)
合 計	140億1千287万2千円 (対前年度比 10.5%の増)

となった次第であります。

以下、ただ今申し上げました予算編成の基本的な考え方に基づき、平成26年度の一般会計当初予算案に盛り込まれた主な内容について、第1次小鹿野町総合振興計画に掲げる基本施策に沿ってご説明申し上げます。

《自然と歴史に囲まれた住みよい生活環境整備》

はじめに、「自然と歴史に囲まれた住みよい生活環境整備」であります。

本町には、恵まれた自然環境があり、これらが暮らしの安心と充実を支える基盤となっています。これまでも両神国民休養地をはじめ、西秩父自然公園、秩父多摩甲斐国立公園など多くの自然公園の維持管理を行ってきました。本年度も引き続き適切に管理していくための予算を措置いたしました。また、自然環境を保全していくには、住民の普

段の生活が密接に関わっていると感じています。そこで、太陽光発電設備設置や高効率温水器設置に係る助成を引き続き行うとともに、し尿処理施設である衛生センターの焼却施設と乾燥装置を改修するための費用を計上いたしました。

町で暮らす人々の安全を保障するために欠かせない消防団活動については、昨年度に引き続き、第二支団へ水槽付消防車両を配置するとともに、秩父消防本部の消防無線がデジタル化されることに伴い、各消防車両に消防無線デジタル受令機を設置し、迅速に消火活動ができる体制を整えるための予算を計上いたしました。また、安全と環境の両面を考慮し、防犯灯のLED化を徐々に行うとともに、万が一災害が発生した場合を想定し、避難所用備品を備蓄するための予算も計上いたしました。さらに、町営住宅新井団地の長寿命化工事を行うとともに、一般住宅の耐震診断及び耐震補強工事に対する助成を行い、現在の家で安心して暮らしていけるよう配慮いたしました。

住民生活に欠かせない移動手段の確保については、昨年度開始した乗り合いタクシーを引き続き運行するとともに、町営バスの路線の再検討を行っていきたいと思います。また、町道については、本年度「道路ストック総点検」を行い、来年度以降改良や改修を皆様方からの要望を加味しつつ計画的に行っていく所存であります。

《健康と福祉のまちづくり》

次に、「健康と福祉のまちづくり」であります。

本町は、早くから町立病院を核とした地域包括ケアシステムを確立し、保健・医療・福祉を体系付けて保健予防や在宅福祉などで先進的な取り組みを行ってきました。その結果、75歳以上の医療費が埼玉県内で一番低い状態となることができています。

本年度も引き続きH i bワクチン・小児肺炎球菌ワクチンなどをはじめ、高齢者のインフルエンザや肺炎球菌ワクチンの接種費を助成するとともに、町の障害者施策の基本となる「障害者福祉計画」を策定するための費用を計上いたしました。

さらに、町の将来を担っていく町の宝である子どもたちを町全体で支えていくため、乳幼児健診などで使用する児童館2階の畳交換やエアコン修繕費を措置いたしました。

最近の夏の暑さは耐えがたいほどの高温となる日もあります。そこで、昨年度より行っている公共施設で涼みながらお休みをいただく「クールオアシス」のPRを積極的に行っていきます。

町立病院は、町民の方はもとより、圏域住民の医療の核となる施設であります。本年度は旧病棟などの耐震診断に係る費用を補助し、病院の安全性を確認するとともに、引き続き定住自立圏による財政支援、地元医師会の医師のご支援を受けながら、安定した診療体制を築けるよう医師の

確保に向け全力で取り組んでまいりたいと考えております。

さて、介護保険は、年々増加する介護サービス需要により、給付費は増加傾向にあります。町では、介護予防拠点である「般若の丘・いきいき館」を中心に介護予防事業を推進するとともに、認知症を早期に発見できるシステムを導入し、要介護状態を未然に防ぐことで、介護保険の安定的な運営に努めてまいります。

また、国民健康保険事業は、長引く景気後退などにより、各市町村とも大変厳しい財政運営を余儀なくされているところでもあります。国民健康保険は町民の約3分の1の方が加入する重要な保険であることから、保険事業維持のため平成23年度から過去最高となる繰出金を措置いたしたところでもあります。本年度も同額の繰出金を措置し、国民健康保険特別会計の維持に意を配したところでもあります。

《ふるさとの明日を担う心豊かな人づくり》

次に、「ふるさとの明日を担う心豊かな人づくり」であります。

最近では少子化傾向にますます拍車がかかり、平成20年に102人あった出生数が平成25年には66人まで落ち込んできています。このような状況であればこそ、皆さんが安心して子育てに臨める環境づくりに今まで以上に強力

に取り組み、少子化に歯止めをかけたいと考えています。

そこで、義務教育における支援策として、第二子以降の給食費・教材費の一部助成事業に引き続き取り組んでいくとともに、消費税率引き上げ分について、第1子からの児童生徒と、幼稚園園児についても助成するための予算を計上いたしたところであります。

学校教育施設については、小鹿野中学校校舎の改修は継続事業として引き続き行い、小鹿野小学校の体育館とプールにつきましては、新設のための費用を措置いたしました。また、学校給食センターについては、来年度の建設を見据え、設計費を計上いたしました。幼稚園においては、小鹿野幼稚園の防水工事や三田川幼稚園の屋根改修工事に係る経費を措置いたしたところであります。

学校図書については、引き続き図書整理員2名を町単独事業として配置するための予算を計上し、学校図書室の環境整備に配慮するとともに、学校ICT支援員についても、教育現場での需要が高いことを考慮し、町単独事業として引き続き配置するための予算を措置し、教育環境の整備に努めたところであります。

社会教育施設においては、小鹿野小学校体育館並びにプール新築に伴い、取り壊すことになる柔剣道場の代わりに、新たに建設するための設計費を計上いたしました。また、町民体育館（小鹿野中学校体育館）については、屋根の改修に係る経費を措置いたしました。

伝統文化のうち、町の顔である「小鹿野歌舞伎」に関

しては、歌舞伎・郷土芸能祭開催費用や伝承に関わる経費を措置いたしました。また、「小鹿野春まつり」の中心である小鹿神社旧本殿改修に係る助成金を計上し、指定文化財の保存に意を配したところであります。

高等学校施策においては、小鹿野高校で取り組んでいる「山村留学制度」を支援するための助成金を昨年度に引き続き同額を措置し、小鹿野高校の発展に寄与する所存であります。

《地域に根ざした活気あふれる産業づくり》

最後に、「地域に根ざした活気あふれる産業づくり」であります。

初めに農林業関係についてですが、年々増加する鳥獣被害を先頭に立って防いでいただいている西秩父猟友会員の皆様の狩猟免許更新にかかる費用を助成することで、多少なりとも負担の軽減を図り、引き続きご活躍を賜りたいと考えています。農業基盤整備事業では、雨天時に排水が溢れ、畑の土が押し流されてしまう両神小森地区の排水施設の改修を行います。また、生活道路としても欠かせない森林管理道についても、引き続き地元要望等に基づき改良整備することとし、中平線・釜の沢伊豆沢線・浦島線の改良や日蔭入支線・長久保線・高指線の舗装工事費を措置したところであります。また、雇用の創出を生み出すため、新

たに町内で起業する企業に対する助成や、企業誘致にご協力いただいた方に対する謝礼を措置させていただきました。

私は、公約にも掲げさせていただきましたが、「観光が勝負」と強く感じています。そこで、平成26年度からは新たに観光を中心とした課を設け、そこを拠点に観光施策を展開していく所存であります。

観光振興の目玉として、平成26年度は、現在個人で行っている住宅イルミネーションを地域全体で実施し、地域おこしに寄与していただくための助成金交付事業や先進的な地域活性化事業に取り組む意欲のある団体に対する助成金交付事業に係る費用を計上いたしました。また、国民宿舎で行う耐震診断に対する費用を補助し、利用するお客様の安全に意を配するとともに、隣接する健康増進センターの屋根改修に係る経費も計上いたしました。さらに、多くの皆様が健康増進や気分転換にご利用されている「四季の道・おがの」の沿道にある桜や雑木が大分大きくなり、見通しの悪い個所がありますので、計画的に伐採をし、環境整備を行っていくための費用も計上いたしました。

なお、本年度は午年総開帳の年であります。本町にも札所が2カ所あり、大勢の参拝者が訪れることが予想されます。私はもちろんのこと、職員・議員各位さらには町民の皆さん全員で暖かくお迎えし、気持ちよくお帰りいただけるようご協力をお願い申し上げる次第であります。

以上、平成26年度一般会計当初予算案に盛り込まれた主要な施策の概要につきまして、ご説明申し上げた次第であります。

【特別会計及び事業会計予算の状況】

次に、特別会計及び事業会計予算案についてご説明申し上げます。

なお、地方公営企業法が改正され、平成24年4月に施行されたことに伴い、平成26年度予算から会計基準の見直しが行われました。そのため、昨年度までと予算書の書式が変わっていますが、予めご了承ください。

国民健康保険特別会計につきましては、国保財政の運営は依然として非常に厳しく、一般会計からの多額な繰入金により維持しているところであります。各市町村とも同様な状況であり、国保制度維持のため県統一化が必要とされる状況であります。

こうした中、平成25年度の医療費を勘案し、予算総額を17億3千127万9千円とした次第であります。

後期高齢者医療特別会計につきましては、年々増額が見込まれる医療費の動向を注視しながら所要額を措置いたしました。予算総額は2億7千535万4千円とした次第であります。

介護保険特別会計の保険事業勘定につきましては、介護

給付費が年々増加の一途をたどり、介護会計は非常に厳しい状況にあります。今後も施設サービスの需要は増えていくと予想されますので、本年度は給付費の増加や介護基盤緊急整備等特別対策事業費の減などにより、予算総額を15億564万1千円といたしました。また、サービス事業勘定につきましては、各サービス事業の需要予測を考慮し、予算総額を2億8千948万1千円とした次第であります。

浄化槽設置管理等特別会計につきましては、本年度も高性能合併浄化槽80基分の設置経費を計上するなど、予算総額を1億4千490万円とした次第であります。

病院事業会計につきましては、外来患者、入院患者はほぼ昨年度並みを見込むものの、引き続き厳しい経営になることが予想されます。

本年度も引き続き、定住自立圏の制度を活用しながら医師・医療スタッフの確保・充実に努めるとともに、地域の中核病院として、住民に安心して生活できる環境を提供する役割を果たすために必要となる予算を措置したところであります。

なお、予算総額は、16億859万3千円とした次第であります。

水道事業会計につきましては、長引く景気低迷の影響により、本年度も引き続き給水収益の減少が見込まれます。

水道事業は、町民の命に直結する大切な事業であります。今後も配水管の計画的な更新を行いながら水道水の安定供

給に努めていくこととし、予算総額を3億9千612万4千円とした次第であります。

国民宿舎事業会計につきましては、東日本大震災から3年を経過し、徐々に客足も戻りつつあります。本年度は、耐震診断を行うなど、お客様の安全を第一に考えた経営に努めてまいります。

なお、予算総額については、2億3千150万円とした次第であります。

【その他の議案等の概要】

最後に、その他の議案のうち、主なものにつきまして、ご説明申し上げます。

まず、議案第1号ないし議案第6号、平成25年度小鹿野町一般会計補正予算（第5号）などの補正予算の概要ですが、一般会計において、先月の大雪による町道・森林管理道の除雪費用を計上するとともに、小鹿野町土地開発公社解散に伴う精算金を土地取得基金へ積み立てるほか、年度末における所要な調整を行うものであります。そのほか各会計において年度末の状況を勘案しながら、それぞれ必要な事業費の措置を行ったものであります。

次に、議案第15号、小鹿野町企業誘致条例は、小鹿野町における適正な企業立地を推進するために必要な優遇措置を講ずることにより、企業誘致を推進し、産業の振興及

び雇用機会の拡大を図るため、新たに条例を制定しようとするものであります。

次に、議案第16号、小鹿野町課設置条例の一部を改正する条例は、課の設置及び分掌事務の再編を図るため、条例の改正をしようとするものであります。

次に、議案第17号、小鹿野町手数料徴収条例の一部を改正する条例は、知事の権限に属する事務処理の特例に関する条例の一部改正に伴い、条例の改正をしようとするものであります。

次に、議案第18号、小鹿野町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例、及び議案第19号、小鹿野町浄化槽設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例、議案第20号、小鹿野町病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例、議案第21号、小鹿野町水道事業給水条例の一部を改正する条例の4議案は、社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律等の施行に伴い、条例の改正をしようとするものであります。

次に、議案第22号、小鹿野町社会教育委員設置条例の全部を改正する条例は、地域の自主性及び自立性を高めるための改革を推進するための関係法律の整備に関する法律の施行による社会教育法の一部改正に伴い、条例の改正をしようとするものであります。

次に、議案第23号、小鹿野町公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例は、ちちぶ定住自

立圏観光連携事業を行う一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社に職員を派遣するため、条例の改正をしようとするものであります。

次に、議案第24号、小鹿野町観光溪流釣場施設条例を廃止する条例は、小鹿野町観光溪流釣場施設を廃止したため、条例を廃止しようとするものであります。

その他の議案につきましては、提案理由等によりまして、ご了承を賜りたいと存じます。

以上をもちまして、今回ご提案申し上げました予算案、諸議案のうち、主なものにつきましての説明を終わらせていただきます。

なにとぞ慎重ご審議のうえ、ご議決賜りますようお願い申し上げます。